



◆◆飯野・渡利学習センター青年教育事業だより◆◆

飯野・渡利学習センター2館合同青年教育事業
「いまさら聞けない！けど、知らないとまずい！夜間、冬季の
安全運転と日常点検方法！」の講座を開催いたしました。



令和2年11月8日(日)、渡利学習センターにおいて飯野・渡利学習センター2館合同による「青年教育事業」講座を開催しました。

この日は、18歳から30歳代までの若者8名(相乗りも含め自動車5台分)が参加しました。

内容につきましては、市内に住む青年層にとって「公私ともに生活必需品である“自動車”の安全運転及び日常点検方法」をテーマとし、今回一般社団法人日本自動車連盟福島支部(JAF)より講師をお招きしました。

なお、当事業では「新型コロナウイルス感染症対策」として、できるだけ感染リスクの低い屋外中心の活動となるよう企画しました。このため、当日は室内で開催した「講義編」と、会場を外に移して実施した「実習編」により、計2時間に渡る2部構成で行いました。特に、室内開催においては、手指のアルコール消毒の徹底、常時窓を開ける、3密を避けるために席の距離を置く、マイクの使用による飛沫防止等を行うなど、徹底した感染対策を実施の上で開催いたしました。

【講義編】

「講義」では、夜間や冬季の安全運転はもちろん、交通事故防止、交通意識、マナーの説明がありました。市、県内で実際に発生した事例を挙げながら説明していただいたので、非常にわかりやすかった内容でした。また、実際に発生した事故やあわや大事故になりそうな事例の映像を流した際には、思わず声が出た参加者もあり、改めて安全運転への意識づけが必要だと感じました。



JAF職員の方を講師としてお招きいたしました。自動車事故の話に耳を傾ける受講生のようす



【実習編】

「実習」では、前半に講師の指導の下、公用車を使用してタイヤ交換、ボンネット内の日常点検方法を学習しました。講師より一つ一つ丁寧に説明していただき、参加者も説明を熱心に聞いておりました。後半では、参加者の希望を取ったうえで、参加者の車について講師の他、学習センター職員(技能師)も加わって参加者へ説明をしながら点検を行いました。講師はもとより、職員も車に対する造詣が非常に深く、参加者の疑問、質問に応答しながら、和気藹々とした雰囲気の中で点検を行うことができたため、参加者も非常に満足な様子でした。



市の公用車を使用して点検方法の説明を行う講師のようす(JAF職員)



正しいタイヤの交換についても丁寧に
ご指導いただきました。



各自の自動車のメンテナンスのようす
市職員(技能主査)も親切に説明しておりました。



最後は講師より講評をいただきました。

当日は、学習センター職員より参加者全員の車の空気圧の調整とウォッシャー液の補充もあり、参加者から好評をいただきました！





【今回の当事業における感想と反省点について】

今年度の事業は、新型コロナウイルス感染症対策の一環から昨年度の料理教室の開催が難しいため、感染リスクが低い屋外での事業を実施するという考えから企画いたしました。しかし、「自動車」を使った事業を今まで実施したことがなかったため、どの程度の申込みがあるか不透明でした。そのため、昨年度よりも多くの場所へ本事業のポスターやチラシを設置しましたが、残念ながら昨年度の料理教室程の申込みはありませんでした。

しかし、市役所内外からは本講座の内容に対して好評の声を多数頂き、特にテレビ局からは取材の打診もありました。結果として、取材自体は先方の日程が合わなかったため実施はされませんでした。取材の候補に挙げたことについては一つの評価として受け止めたいと感じました。

また、40歳代以上の方からの申し込みが5件以上もあり、大変好評をいただきました。こちらにつきましては、今後「市民講座」等で開催する参考にもなりました。

一方で、参加者の中には市役所職員の姿もありました。あくまで、福島市民として個人による申し込みでしたが、参加の理由を聞いたところ「“タイトル”のとおり、自分の車の点検や安全に運転するための知識が欲しかったので参加しました。また、仕事では市民の皆様からの貴重な税金を使わせていただいて公用車を運転するため、事故やマナー違反にならないためにも参加を希望しました」とご回答をいただきました。貴重な休日の時間を割いてでも、“公務員”としてのモラルを守るためにも本講座への参加希望があったことについて、大変感慨深いものがありました。(もちろん良い意味です。)元々、当企画については飯野学習センター担当者が発案したものであり、「“空き状況”があれば、市職員のみなさんからの応募も受け入れたい！」との要望がありました。その理由としては、先程の参加者と同じ理由に加えて、「新人の頃に“タイトル”のような講座があれば良かったのに・・・」「自分と同じ思いをしている後輩達もいるのではないかな・・・？」という思いがきっかけとなり開催する運びとなりました。

今回の企画において、想定外の反響が多くあったことについて担当者自身が驚きましたが、多くのみなさんが安全運転により事故が少なくなれば幸いであると職員一同願っております。

飯野・渡利学習センターでは、18歳から30歳代までの若者達が学習センターの「青年教育事業」に何を求めているのか？そして、若者が今必要としている“社会教育”を実施できるよう、今後も努力して参ります。

※当事業につきましては、「新型コロナウイルス感染予防対策」を実施の上開催しております。

※紙面及びインターネットによる写真掲載につきましては、講師より承諾を得て掲載しております。なお、参加者につきましてはプライバシー保護のため、顔写真の掲載はしていません。



◆◆福島市飯野・渡利学習センター◆◆

